ビルダー・工務店向け勉強会

# ZEHで確実に受注するシンプルな仕組みを学ぶ

## （10月から2月まで全国29都道府県で）

2020年の省エネ義務化で対応の遅れが心配される地域工務店。その不安を解消し、積極的に省エネ住宅に取り組めるようにしようと、地域中小工務店の全国組織である一般社団法人全国中小建築工事業団体連合会（本部：東京都中央区、以下、全建連、会員数1万社）では、地域のビルダー・工務店を対象に「ZEHで確実に受注するシンプルな仕組みを学ぶ」と題したZEH※等の高性能住宅についての勉強会を全国29都道府県で10月から来年2月まで開催する。受講料は無料。

この勉強会の大きな特徴は、これまで国等で開催してきた省エネ住宅の技術・施工の研修会と異なり、地域のビルダー・工務店が、「どのようにZEH等の高性能住宅を受注し、しっかり粗利を確保するか」についての方法、ビジネスモデルを学ぼうというもの。これから地方住宅市場の大幅な縮小が進行する中で、ZEH等高性能住宅をビジネスチャンスとして取り組んでもらい、地域工務店・ビルダーに頑張ってもらおうという勉強会だ。

そのため、ZEH等の高性能住宅取組みではトップを走る㈱低燃費住宅ネットワーク（本社東京、中谷哲郎代表取締役）と全面的に連携し、勉強会では、低燃費住宅の過去の取組み経緯や成功事例なども公開。またZEH等高性能住宅の地域への普及は、地域住民へ健康や経済面等様々な便益を持たす社会的要請が大変高い取組みで国も積極的に推進しており、様々な優遇策がとられている。全建連では、こうしたZEHのつくり手である地域住宅事業者を全面的に支援することで地域活性化の一助となることも目指している。

なお主催・全建連のほか、独立行政法人住宅金融支援機構、SBIリスタ少額短期保険株式会社が後援している。開催は10月10日の東京を皮切りに来年2月まで開催される。開催日・会場は全建連ホームページ等で確認のこと。

勉強会の主な内容は次の通りである。

①勉強会開催の趣旨説明／全建連
②ZEH等高性能住宅への取組みについて
・日本の住宅性能についての国際比較
・地域と住宅省エネ化の重要な関係
・人の健康には住宅断熱化が不可欠
・ZEH等高性能住宅の性能をどのように伝える？
・ZEH等高性能住宅取組みの受注までの手順
・ZEH等高性能住宅取組みのメリット（まとめ）等
③ZEH等高性能住宅を対象とした金融商品について

※（注）ZEH＝Net Zero Energy House（ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス）の略。住宅の断熱性・省エネ性能を上げることに加え、太陽光発電などでエネルギーを創ることにより、年間の一次消費エネルギー量の収支をプラスマイナス「ゼロ」以上にする住宅、最近大手ハウスメーカーでは標準仕様とするところが多くなっている。地域の中小・零細企業では対応が遅れている。

**■全建連**
**一般社団法人**
**全国中小建築工事業団体連合会**
**（略称：全建連）**
http://www.zenkenren.or.jp/